



すばらしい土木技術をもういちど

第102回 EVENING THEATER

橋 特集 ～日本の橋梁技術～

未知への旅立ち
— 明石海峡大橋上部工 —

21世紀の架け橋
— 第二名神高速道路 木曾川橋・揖斐川橋 —

余部橋りょう さらなる100年へ

2018年12月21日(金) 17:45 開場 18:15 開演 参加無料
土木学会 講堂 (JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分)

HPにて参加申込み受付

<http://committees.jsce.or.jp/avc/>

イブニングシアターは、土木学会認定CPDプログラムです。

問合せ先：土木学会土木図書館 土木技術映像委員会担当 TEL 03-3355-3596



上映作品

未知への旅立ち

— 明石海峡大橋上部工 —



企画 本州四国連絡橋公団第一建設局

制作 海洋架橋調査会

1998年 34分

世界で初めての2,000m級の吊り橋への挑戦を、きれいな映像でまとめている。世界一の明石海峡大橋が完成にいたるまでを、丁寧に説明しており、専門家から一般まで幅広く鑑賞する価値がある。

21世紀の架け橋

— 第二名神高速道路 木曾川橋・揖斐川橋 —



企画 日本道路公団中部支社 四日市工事事務所

制作 カジマビジョン

2001年 18分

第二名神高速道路建設にともない誕生した木曾川橋・揖斐川橋。この二つの橋に採用された世界初の橋梁形式、PC鋼複合連続エクストラードーズド橋を工事記録と併せて分りやすく解説。綺麗なCG、アニメが多用され、理解しやすい作品。橋梁の概要を把握する作品として勧められる。

余部橋りょう さらなる100年



企画 清水建設 制作 キャメル 2010年 20分

当作品は、1912年完成のトレスル式鉄橋の老朽化に伴うコンクリート橋への架け替え工事を記録した映像である。営業線を運行しながらの超近接施工の様子や、強風による転落事故の教訓をもとにした耐風性の実験過程、また超重量の橋桁を短時間のうちに回転・移動し在来線と接続する工事のクライマックスの瞬間などを、設計者、現場所長のインタビュー、現場技術者の働く姿、あるいは余部の四季折々の風景を通して、わかりやすく伝える工夫が随所に見られる。高度な施工技術を映像に捉えた技術的な価値の高い作品であると同時に、土木に興味を持つ一般の方々にも親しみやすい作品となっている。